



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



カレッジあみていえ3期生で、「ななつぼし」を使った美味しい生米パンを作りました♪

→記事の詳細は4ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です!ぜひ、ご覧ください!



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA_KITASORACHI

目次

- 北竜町メロン・すいか祭り 開催 2
- 新規就農者奨励状贈呈式 3
- JAL×JA×北竜町
「JALふるさと応援隊」が北竜町を盛り上げる♪... 6
- イペ・トイ・レシカ 17

2022 うりゅう特産品フェア 開催

7月30日、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」に隣接する、当JA雨竜野菜集出荷施設および雨竜町ライスコンビナートで「うりゅう特産品フェア2022」が開催された。

同フェアは毎年この時期に開催され、雨竜町の特産品（暑寒メロン、マダーボールスイカ、スイートコーン、花き）を出荷最盛期に提供し、地域を盛り上げることを目的としている。

ー昨年、昨年と2年間は、新型コロナウイルスの影響で「ドライブスルー方式」で開催していたが、今年は感染症対策を講じながらコロナ禍以前同様の「対面方式」での販売を行った。

当日は、特価で購入可能なこともあり、用意していたマダーボールスイカ60箱と暑寒メロン450箱は開始1時間ほどで、すべて売り切れるほど大盛況となった。



北竜町 メロン・すいか祭り 開催

毎年お盆時期に、北竜野菜集出荷施設前で開催される「北竜町メロン・すいか祭り」が今年も開催された。

今年も昨年と同様にメロンの生育が早く進み、例年通りの日程で販売することが難しかったため、メロンは8月6日、すいかは8月14日に販売された。

町特産の「北竜ひまわりメロン」や「ひまわりすいか」が特価で販売されるため、両日ともに多くの買い物客が訪れた。

今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として、販売担当者がマスクの着用を徹底し、会場内の至る所に消毒液が設置された。また買い物客が一度に20人ずつ入場となるように制限し、入場する際には手指を消毒するよう呼びかけた。

買い物客は規格ごとに分けられた販売ブースに並び、糖度の高さや食べごろなどを聞きながら好みのものを買求めた。

6日はメロン約870ケース、14日はすいか約471ケースを準備し、どちらも好調な売れ行きで、開場から30分ほどで完売する規格もあった。



令和4年度 新規就農者 激励状贈呈式

令和4年度「新規就農者激励状贈呈式」が7月上旬に開催され、新規参入やUターン、新規学卒など本年度の新規就農者13名のうち4名が出席した。出席者は、当日の午前中にJAの施設見学とJA組織についての講義を受け、午後から激励状贈呈式に出席した。

JA施設見学では、各施設の担当職員による案内で、青果部野菜集出荷施設や北育ち元気村花き集出荷施設、深川マイナリー、広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設を見学し、それぞれの施設で集荷されている農産物や、各施設の概要説明と機械等の説明が行われた。その後、JA本所にて農業振興部職員が「JAという組織の特徴とめざすもの」と題した講義を行った。また昼食の際には、柏木孝文組合長と岩田清正

専務が同席のもと会食および懇談を行い、出席者は日々の営農を話題に意見交換をした。

激励状贈呈式は、JAの理事会の席上にて開催され、役職員が見守るなか、柏木組合長より一人ひとりに激励状が手渡された。柏木組合長は、「是非とも地域の先輩方や関係団体と対話を重ね、自身が目指す営農の姿を決めていただきたい」と激励の言葉を贈った。また出席者を代表し、大井清二氏(多度志地区)は、「コロナ禍による外食産業の低迷や資材・肥料の高騰、農業の担い手不足等、営農するなかで様々な問題があるが、日々進化し続ける営農技術に耳を傾け、農産物の品質向上を目指したい。これからの北海道農業を担い、進化し続ける農業経営者を目指したい」と力強く決意表明した。



※出席者 前列左から 2番目:大井清二 3番目:宮田雅大 4番目:宮島輝 5番目:山下智史

地区	氏 名	地区	氏 名
一已	みやぎし あきと 宮岸 彬人	納内	みやぎし はると 宮崎 遥翔
	かみお みき 神尾 美紀		もりた ひろみ 森田 裕美
	やました ざとし 山下 智史		なかむら みなと 中村 南斗
	やました まお 山下 真央	多度志	おおい せいじ 大井 清二
	ひらおか あつき 平岡 篤樹	北電	いしだ きゆうり 石田小百合
	みやじま あきら 宮島 輝		ささき みほ 佐々木美帆
メム	みや たまさひろ 宮田 雅大		

農業 振興部

青年部・女性部と

J A常勤役員との懇談会を開催

7月19日、青年部・女性部とJA常勤役員との懇談会が当JA本所の会議室で開催され、両部の役員30名とJAから16名の役職員が出席した。

第4回となる今回は、「資材高騰問題が農業経営に与える影響と課題」と題し意見交換を行った。

JA柏木孝文組合長が、懇談会の開会にあたり「個人個人が抱えている思いや考えを伝えていただき、空知全体として対策を講じていきたい」と挨拶した。

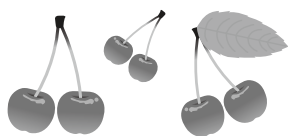
その後、出席者が5班に分か

ること」といった様々なテーマでグループ討論を行った。

各班では「土壌診断を細かく行うために診断料の支援がほしい」「国産、地元の農畜産物の安全性をもっとPRしてみたい」「日本で安全に生産される農畜産物に消費の目を向けてほしい」など活発な議論が行われた。グループ討論の後には各班での討議内容が発表され、今後の課題、要望に対して生産者とJAが手を携えて出来る事について共有した。



農業 振興部



午後からは音江の株式会社渡辺農園にてさくらんぼ収穫体験を行い、受講生はお腹いっぱいになるまでさくらんぼを堪能した後、好きな種類のさくらんぼを収穫しバケツいっぱいにお土産として持ち帰った。

受講生からは「今が旬のさくらんぼは大きくて色がとてもきれい、お店で売っているような出来ばえで作れた」「チェリーパイ一つでボリュームがあって食べ応えがある」「小麦粉アレルギーの人でも自宅で簡単に生米パンが作れるのはうれしい」などの声があった。

7月6日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」3期生の第2講が開催され、受講生10名が参加した。

第2講は、「生米パンとチェリーパイ作り」と題しアグリ工房あびにて加工体験を行った。チェリーパイ作りでは、さくらんぼをつぶさないよう軽く火を通しグラニュー糖で煮立て、焼きたてのパイ生地に分好み盛付けをした。生米パンはなつぽしを使用し必要な材料をミキサーに入れてまぜる作業で簡単に作ることができた。

JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ3期生第2講 さくらんぼ狩り&生米パンとチェリーパイ作り

北空知 広域連

北育ち元気村
花き生産組合

＊花き品種展示会を開催＊

7月20日、北空知広域連花きセンターで、北育ち元気村花き生産組合主催による花き品種展示会が開催され、JAきたそらち・JA北いぶきの花き生産者約72名が参加した。

展示会はマスク着用の徹底、消毒液の設置、3密の回避等、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催された。

展示会では、種苗会社7社による品種展示会が開かれ、元気村の主力品目であるスターチスをはじめ、ヒマワリやダリアなどのおすすめの品種が展示された。訪れた生産者は種苗会社の担当者より品種特性等の説明を受けた。





深川支所 年金友の会

パークゴルフ大会

7月22日、深川支所年金友の会（木谷義治会長 会員500名）のパークゴルフ大会が、28名の参加のもと深川市総合運動公園で開催された。

当日は好天に恵まれ、参加した会員は日頃の練習の成果を発揮し、快音を響かせていた。

「しらかば」「つつじ」「さくら」の3コースを7チームで回り、男性の部では混戦となり、5名の方が同スコアにより、プレーオフの対決となった。

男性の部ではプレーオフを制した坂口三男さんが、女性の部では五十川美恵子さんが優勝した。上位入賞者は以下の通り。（敬称略） 【金融共済深川支所 小野寺】



	男性	女性
優勝	坂口三男	五十川美恵子
準優勝	酒井孝雄	村田信子
1位	佐藤克之	伊賀靖子
2位	小森衛	武田幸子
3位	増田三郎	定岡里代子



雨竜支所 年金友の会

パークゴルフ大会

8月22日、雨竜支所年金友の会（吉見正弘会長）の第17回パークゴルフ大会が会員15名の参加のもと、雨竜町パークゴルフ場にて開催された。

当日は晴天に恵まれ、とどまつコース・ダリアコースの計36ホールを回り、参加した会員は腕を競い合い、プレーを楽しみつつ親睦を深めた。

大会の結果は右記の通り。（敬称略）

	男性	女性
優勝	池田博	平松信子
準優勝	志部谷恒夫	辻陽子

【金融共済雨竜支所 青山】



JAL×JAきたそらち×北竜町

「JALふるさと応援隊」が北竜町を盛り上げる♪

当JAと北竜町は、日本航空（JAL）と連携をして、客室乗務員で構成される「JALふるさと応援隊」による農業体験の受け入れを行った。

この取り組みでは、昨年の7月にも同JA管内において農作業体験や農産物集出荷施設の見学などを行っており、同年9月にはJALとJA北海道中央会の農作業支援連携による地域活性化、農畜産物の付加価値向上を目的とした連携協定を締結し、深川市の花き生産者の圃場でスターチスの採花や選花作業を実施した。

2年目となる今年は、JA管内の北竜町を対象とした農業体験が7月20日から29日まで実施され、「JALふるさと応援隊」の6名が2人ずつ3泊4日の日程で同町の特産品である北竜ひまわりすいかや北竜ひまわりメロンの収穫、選果作業等の農作業に励んだ。

ひまわりすいか組合の渡邊俊成組合長の圃場で農業体験を行った同応援隊の綿世さんは「北竜ひまわりすいかは色が鮮やかな黄色で素敵。今後も多方面にすいかや北竜町の魅力をPRしていきたい」と話す。

農業体験の他にも、同町の農畜産物直売所での販売の手伝いや7月23日より同町ひまわりの里で開催されている「ひまわりまつり」のオープン式でテープカットに参加するなど地域を盛り上げる活動も行った。



北竜支所

北竜メロン生産組合

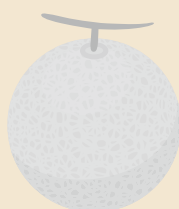
小学校などに「北竜ひまわりメロン」贈呈

7月22日、北竜メロン生産組合（高畑克洋組合長、24戸）が北竜町立真竜小学校へ『北竜ひまわりメロン』5玉入り3箱の贈呈を行った。この贈呈は地元の特産品を子どもたちに味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は高畑組合長が小学校を訪れ、「みんなで美味しく食べてください」と同小学校の児童5名に手渡した。

受け取った児童は「僕たちは北竜のひまわりメロンが大好きです。みんなで美味しくいただきます」と感謝の言葉を述べた。

また同日に、同町立北竜中学校にも贈呈を行った。



「JAきたそらち地域農業応援団」 第2回応援団会議

JAの准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第2回応援団会議が、7月28日に深川市内で開催され、団員19名が参加した。今回はJA施設の見学や深川市内レストランでの昼食、JA農畜産物直売所での買い物などを行い、団員は地元産の食材について楽しみながら学んだ。

JA施設見学では、「青果部野菜集出荷施設」にて胡瓜の共選作業を見学し、選果の基準や農福連携の取り組み等について学び、また隣接する「北育ち元気村花き集出荷施設」では、北空知の花きの流通や種類について学び、実際に出荷前の花きを鑑賞した。続いて見学した「広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設」では、小麦や大豆の荷受けから出荷までの工程について説明を受け、JAが深川市と協定を結び管理している「深川市多目的低温倉庫」では、災害時における市民のための防災備蓄品として、食料や水が同倉庫内に保管されていることについて学んだ。

昼食は、「レストラン空音（音江地区）」にて、深川産の人参や茄子などの野菜や道産食材をふんだんに使った料理を楽しんだ。

午後からは、道の駅ライズランドふかがわ内の「JA農産物直売所e-cir」に移動し、直売所利用客アンケートに回答しながら見学と買い物を行った。アンケートへの協力のお礼として配布された商品券を使って、袋いっぱいには地元産の農産物を購入している団員の姿も見られた。また今回の最後には、総務経理課職員の説明のもと、JAの「太陽光発電所」も見学した。

参加した団員は、「地元の野菜や大豆、お花などがお店や各家庭の食卓に並びまでの工程を学ぶことができた」「地元産の食材を堪能し、またお買い物もできてよかった」「JAに太陽光発電所があることは知らなかった」などと感想を述べた。



総務部

深川西高 フィールドスタディの実施

7月20日深川西高等学校2年生7名が当JAにおいてフィールドスタディを実施した。

フィールドスタディとは、企業見学や職場体験を通して、企業と企業、企業と地域とのつながりや企業が取り組んでいる社会課題を知り、社会や地域についての学びを深めることを目的とする訪問学習のことをいう。

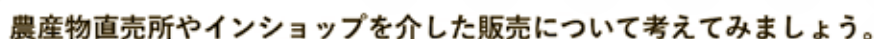
人事課によるJAきたそらちの紹介後、深川マイナリーと精米施設を見学した。

今後の就職活動を見据えた学習ということもあり「仕事へのやりがいや喜びはあるか」「学生時代にやっておくべきこと」など積極的に質問された。

参加した学生は「短い時間だったが色々勉強になった」「JAがこんなに沢山の仕事をしている企業だと初めて知った」など感想を聞かせてくれた。

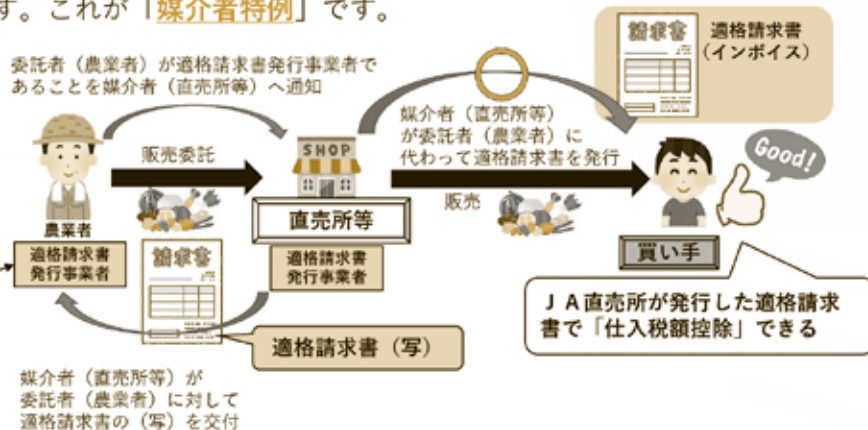
【人事課 墓田】





委託者（農業者）が、媒介者（直売所等）を介して行う取引の場合、**委託者・媒介者双方が適格請求書発行事業者である場合**には、**委託者に代わって媒介者が**、媒介者の登録番号を記載した**適格請求書（インボイス）**を発行することができます。これが「**媒介者特例**」です。

**「農協特例」「卸売市場特例」
との大きな違いです！**



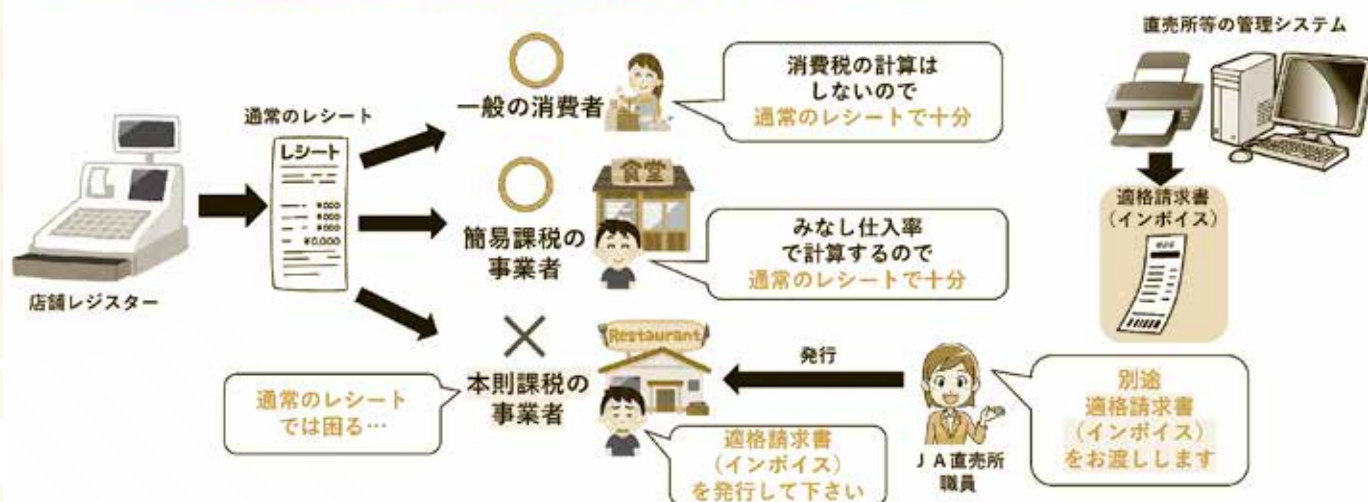
Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved

お客様の買い物籠の中には様々な商品が入っていますので、この媒介者特例方式を採用する店舗の場合、請求書や領収書（レシート）の記載は複雑なものになることが想定されます。



ただし、直売所やスーパーのお客様の多くは、一般の消費者や小規模事業者（簡易課税・免税）であり、**適格請求書（インボイス）を求めるお客様（本則課税の事業者）は限定的**であると想定されます。

このような複雑な記載のレシートを**全てのお客様に発行することは現実的ではありません**。
そのため、**レジスターでは、一旦、通常のレシートを発行し、適格請求書（インボイス）を求めるお客様には、別途、適格請求書（インボイス）を作成することが現実的な対応です**。



Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved

ここで、1つ問題点があります。**本則課税の事業者のお客様が、農産物等を購入する場合、商品ラベルを見ても「どの農産物等が適格請求書発行事業者の商品か？」判断できません**。



そのため、**適格請求書発行事業者の商品について、商品ラベルに何らかの印（例えば★印など）を付す**などの対応と併せて、店内に掲示する等の方法で、**本則課税の事業者であるお客様に対して、その商品が適格請求書発行事業者の商品である旨を周知**するなどの対応が必要と考えられます。

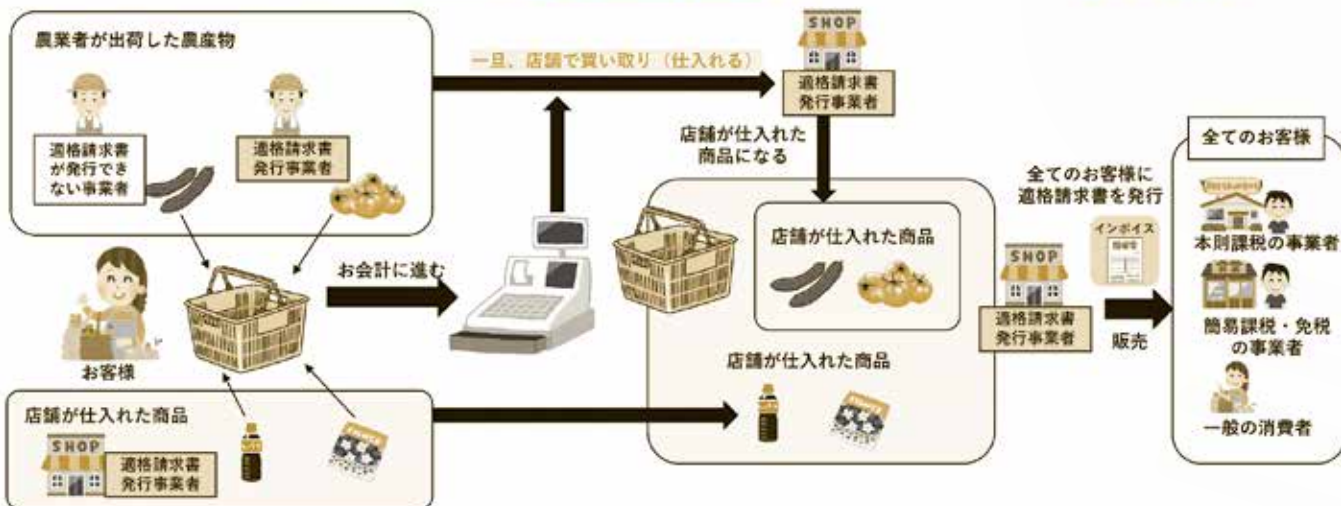


Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved

②消化仕入方式

レジでお客様が代金支払いをする際に、買い物籠の中に農業者が出荷した農産物等がある場合は、その農産物等を、一旦、店舗が買い取り（仕入れる）、それと同時にお客様に販売します。

こうすることで、お客様の買い物籠の中の商品は全て「店舗」の商品として販売することになるため、全てのお客様に対して、店舗として適格請求書（インボイス）を発行できます。これが「消化仕入方式」です。



Copyright (C)2022 J A 新潮中央会 All Rights Reserved

ここで、1つ問題点があります。適格請求書発行事業者でない農業者が出荷した農産物等を店舗が買い取る（仕入れる）場合、店舗側は仕入税額控除が出来ません。

そのため、店舗としては、**適格請求書発行事業者でない農業者**からは、**消費税額分安く買い取る**ことが想定されます。適格請求書発行事業者でない農業者への**精算額が消費税分安くなる可能性**があるということです。



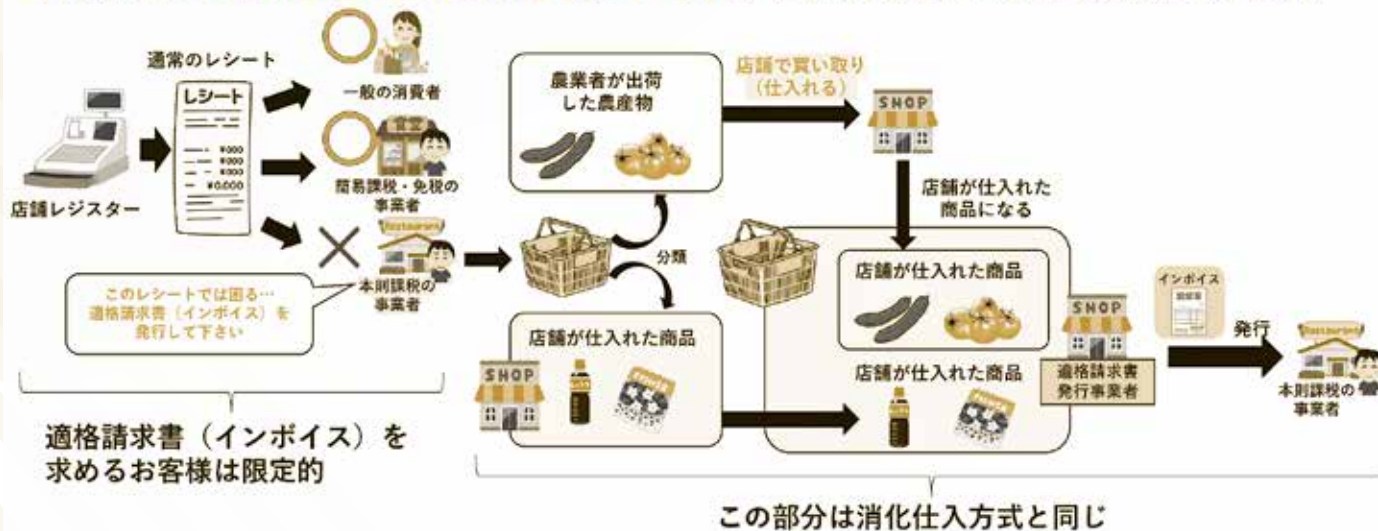
(注意) 適格請求書発行事業者でない農業者からの買取価格を消費税分安くするか否かは店舗の判断です。
実際には買取価格を消費税分安くしない(店舗が消費税分を負担する)ケースもあるかもしれません。

Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

③事業者対応特別方式

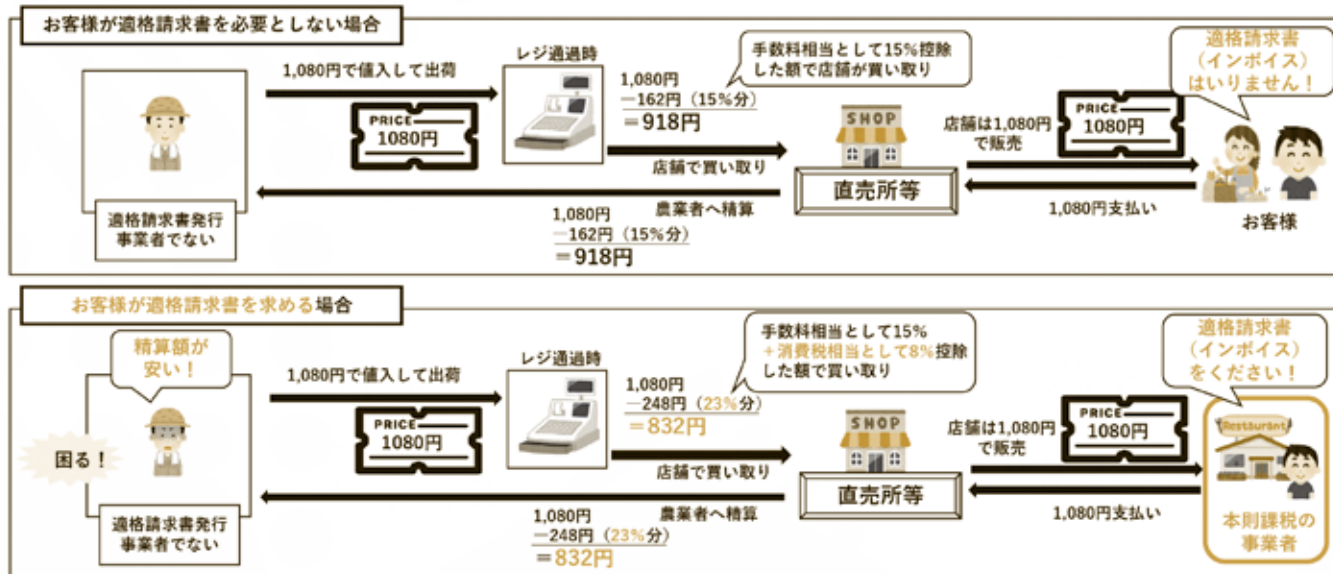
レジスターでは、一旦、通常のレシートを発行し、適格請求書（インボイス）を求めるお客様には、別途、適格請求書（インボイス）を発行します。

ただし、適格請求書（インボイス）を求めるお客様に対しては、買い物籠の中に農業者が出荷した農産物等がある場合は、その農産物等を、一旦、直売所等が買い取り（仕入れる）、それと同時にお客様に販売します。この部分についてのみ消化仕入方式と同じで、お客様を限定した消化仕入方式となります。



Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved

この方式の場合、一部のお客様にしか適格請求書（インボイス）を発行しないので、全てのお客様に適格請求書（インボイス）を発行する消化仕入方式の場合と比べれば、適格請求書発行事業者でない農業者への影響は限定的です。



（注意）適格請求書発行事業者でない農業者からの買取価格を消費税分安くするか否かは店舗の判断です。実際には買取価格を消費税分安くしない（店舗が消費税分を負担する）ケースもあるかもしれません。

Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved



店舗側はイロイロな対応を考えるんだね。
結局のところ、農業者はどんな対応をすればよいの？



まずは、自分が農産物等を出荷する店舗が、どのようにインボイス制度へ対応するのかを確認することが大切です。

特に、適格請求書発行事業者でない農業者については、自分の精算額に影響が少ない店舗を選択することがポイントです。



（注意）あくまでも「想定される3パターン」であり、実務ではこの①～③以外でインボイス対応する店舗がある可能性もあります。また、①～③の方式の名称は、本資料で説明するうえでの名称です（広く一般に適用する名称というわけではありません）。

（注意）適格請求書発行事業者でない農業者からの買取価格を消費税分安くするか否かは店舗の判断です。実際には買取価格を消費税分安くしない（店舗が消費税分を負担する）ケースもあるかもしれません。

Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved



次に、農産物等の販売以外の様々な取引について考えてみましょう。

（6）農作業の委託

農業経営では、他者に一部の農作業を委託する場合があります。

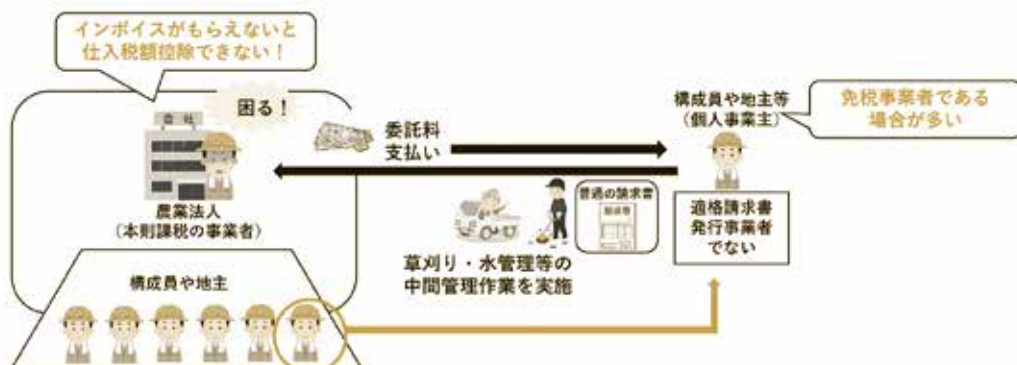


Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

特に、複数の農業者が集まって設立した農業法人では、構成員や地主等の個人へ、草刈り・水管理等の中間管理作業を委託する場合が多いです。

作業を委託する法人側は、適格請求書（インボイス）を必要とする本則課税の事業者、一方、作業を受託する構成員や地主側は適格請求書発行事業者になれない免税事業者である場合が多いです。

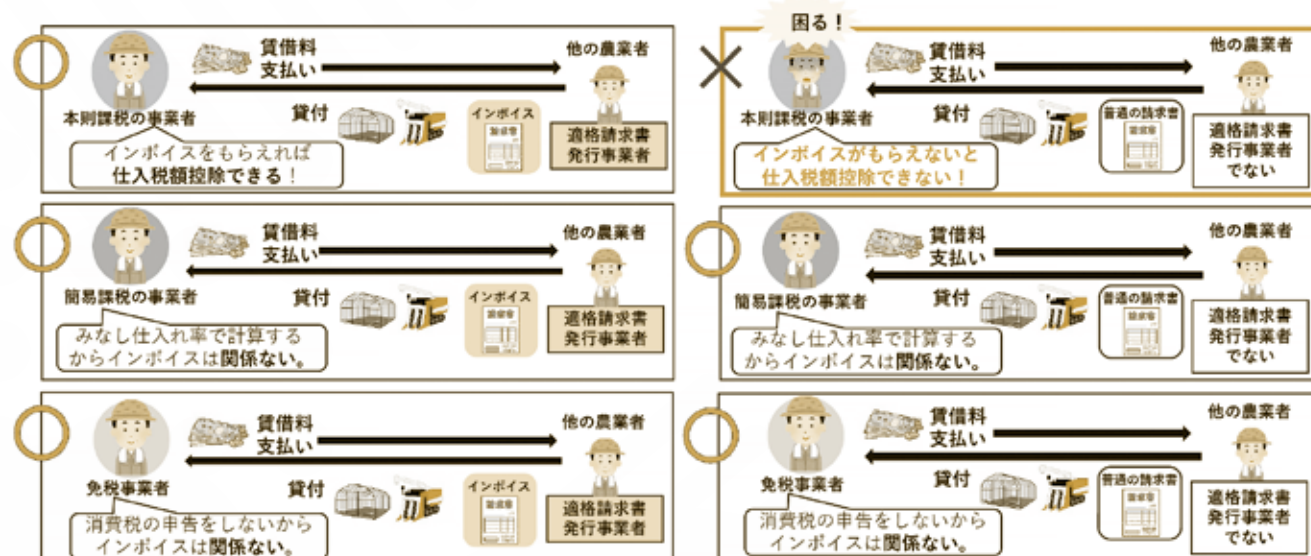
そのため、法人側は仕入税額控除が出来ず、経費負担が増すことが想定されます。



Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

(7) 農業機械・施設等の借り入れ

農業経営では、他者から農業機械や施設を貸してもらう場合があります。



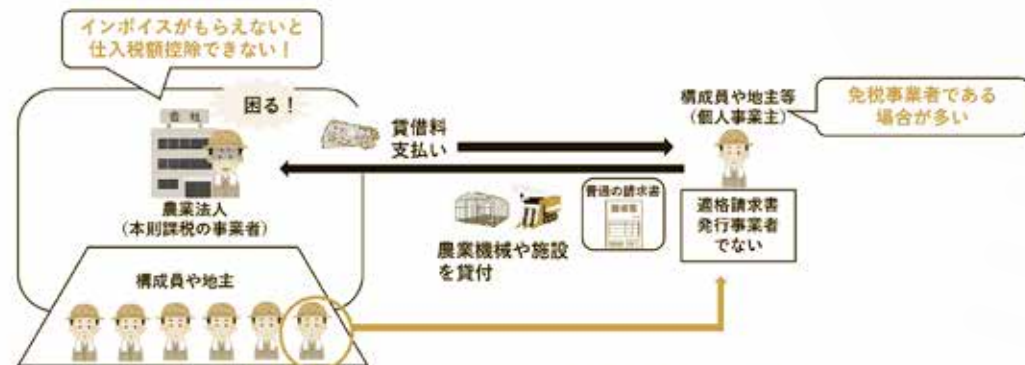
なお、農地の借り入れに係る「地代」は消費税が「非課税」ですので関係ありません。

Copyright (C)2022 J A 新潟中央会 All Rights Reserved

特に、**設立初期の農業法人**では、設立当初から自社所有の農業機械や施設をフル装備することは困難であるため、当面の間は**構成員や地主等が所有する農業機械や施設を借りる場合**が多いです。

農業機械や施設を借りる法人側は、適格請求書（インボイス）を必要とする本則課税の事業者、一方、農業機械や施設を貸す構成員や地主側は適格請求書発行事業者になれない免税事業者である場合が多いです。

そのため、**法人側は仕入税額控除が出来ず、経費負担が増すことが想定**されます。



(注) ただし、設立初年度～2年度目までは免税事業者である農業法人が多いです。

Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved

(8) 任意組合の取引への影響

農業では、複数の農業者が集まって、任意組合（機械利用組合、転作組合、生産組合等）として活動する場合があります。

この場合、**法人格のない任意組合が適格請求書発行事業者として登録できるか否か?**がポイントになります。

任意組合が適格請求書（インボイス）を発行するためには、構成員全員が適格請求書発行事業者で、かつ、業務執行組員等の代表者が税務署に届け出しなければいけません。



残念ながら、任意組合は小規模な農業者を中心に組織している場合が多いので、**構成員全員が適格請求書発行事業者になっているのはレアケース**であると考えられます。

Copyright (C)2022 J A新潟中央会 All Rights Reserved

任意組合名義で農産物の販売を行う場合、JAに販売委託すれば「農協特例」「卸売市場特例」により、任意組合で適格請求書（インボイス）を発行できなくとも問題ありません。



ただし、任意組合名義で、直接販売する場合は留意が必要です。

取引相手が本則課税の事業者である場合は適格請求書（インボイス）を求められることが想定されます。



Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved

(9) 従事分量配当制の農事組合法人への影響

農事組合法人では、組合員の労務の対価を「給料」ではなく「従事分量配当」で支払う法人（これを「従事分量配当制」と呼ぶ）があります。

「給料」は消費税不課税ですので仕入税額控除できませんが、「従事分量配当」は消費税の課税仕入れとして仕入税額控除が出来ます。これが従事分量配当制の農事組合法人の最大のメリットです。

株式会社等（イメージ）			
		金額	消費税
収入	農産物売上	4,320万円	320万円
	交付金等	680万円	不課税
支出	肥料・農薬・資材等経費	3,300万円	300万円
	給料	1,320万円	不課税
剰余金		380万円	
次期繰越		380万円	

【消費税計算】

320万円 - 300万円 = 20万円

仕入税額控除

納税額

納税

【税務署】

従事分量配当制の農事組合法人（イメージ）

		金額	消費税
収入	農産物売上	4,320万円	320万円
	交付金等	680万円	不課税
支出	肥料・農薬・資材等経費	3,300万円	300万円
	給料	0円	不課税
剰余金		1,700万円	
剰余金処分（従事分量配当）		1,320万円	120万円
次期繰越		380万円	

【消費税計算】

320万円 - (300万円 + 120万円) = 100万円

仕入税額控除

還付額

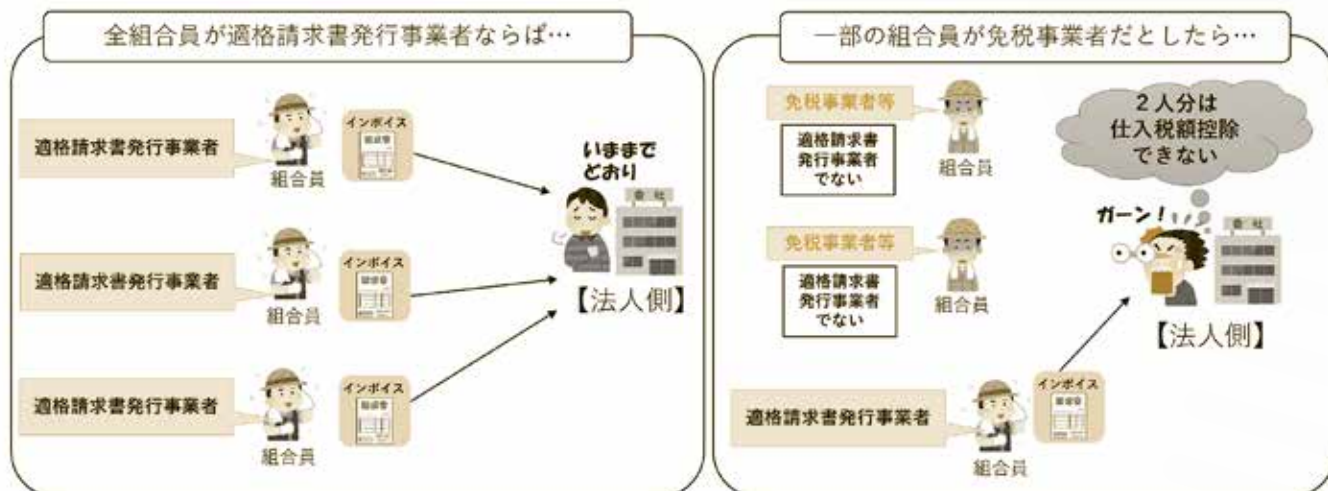
還付

【税務署】

Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved

しかし、インボイス制度が始まると、**法人側が従事分量配当を仕入税額控除**するためには、従事分量配当を受け取る**組合員が法人に対して適格請求書（インボイス）を交付**しなければいけなくなります。

仮に、**適格請求書発行事業者でない組合員がいる場合**は、法人は、その組合員へ支払った従事分量配当に係る適格請求書（インボイス）が得られませんので、**法人の税務上のメリットが減る**ということです。



経過措置と今後の対応については次号で、説明いたします
Copyright (C)2022 JA新潟中央会 All Rights Reserved

総務部

女性活躍推進塾「なでしこ塾」 ベンチマーキングを実施

当JAの女性職員における組合員や地域に貢献する人財を育て確保することを目的として開講した「なでしこ塾」塾生6名は、7月7日から8日にかけて高知県のネットヨタ南国（株）及びビスタワークス研究所を訪問し現地視察とベンチマーキングを行った。

「ベンチマーキング」とは優秀な他社を手本として、自社を改善する長期的な取り組みのことを言う。ネットヨタ南国（株）では創設当初から地域密着型で「人が輝く経営」を実践しており、そこから波及したものが社員採用や人財育成のための研修機関であるビスタワークス研究所である。

ネットヨタ南国（株）での現地視察では、一般的な販売業者とは違うことがお客様ファーストで効率的に動く社員や店内ディスプレイから伺うことができた。

ビスタワークス研究所では、ネットヨタ南国（株）が取り組んでいる社員教

育の手法や女性社

員とのクロストークでは仕事へのモチベーションの保ち方、家庭・育児の両立や後輩指導についてなど様々なお話を伺うことができた。

参加した塾生は「私たちに足りないところを改めて考えさせられた」「社員が『お客様のためにできること』を各々考え実践するが、それはバラバラではなく皆が同じ方向に向かって進むという信念と自信を感じることができた」など当JAの課題と今後自分たちがどのように行動すればいいのか思考を巡らせていた。

尚、来年3月に塾生が研修や講座等で学んだことから当JAに必要とされる取り組みなどを常勤役員へプレゼンテーションを行う予定。

【人事課 墓田】



JAきたそらち子ども向け食農教育事業 イペ・トイ・レシカ

～さくらんぼ狩り体験編～

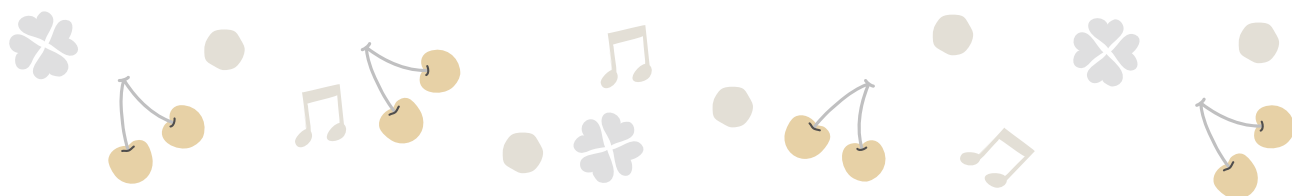


7月23日、今年度3回目となる当JAの食農教育事業イペ・トイ・レシカが行われ、塾生7名、子ども5名が参加した。

今回は、「さくらんぼ狩り体験」と題し、塾生が最初にスライドを使いながら「さくらんぼ狩り体験」を行う深川支所音江地区の(株)せがわ農園(瀬川直希代表取締役)で作付けされているさくらんぼの品種などを説明し、その後、同農園に移動した。

同農園に到着後、さっそく専用のかごを借りて、さくらんぼ狩り体験を行った。この日は、さくらんぼの旬が終盤を迎えていたこともあり、同農園で作付けしている全ての品種を収穫することはできなかったが、子どもたちは、樹々にたわわに実っていたさくらんぼを、かごから溢れるほど収穫し、また口いっぱいに頬張っている姿も見られた。

今回参加した子どもたちは、「こんなにおいしいさくらんぼを食べたのは初めて」「いっぱい穫れたから家に持って帰って家族にも食べてもらう」など笑顔で感想を話す。



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和4年7月実績

○累計(R3.12~R4.7)

発電電力 **61,656kWh**

発電電力 **374,920kWh**

計画対比 + 14,175kWh

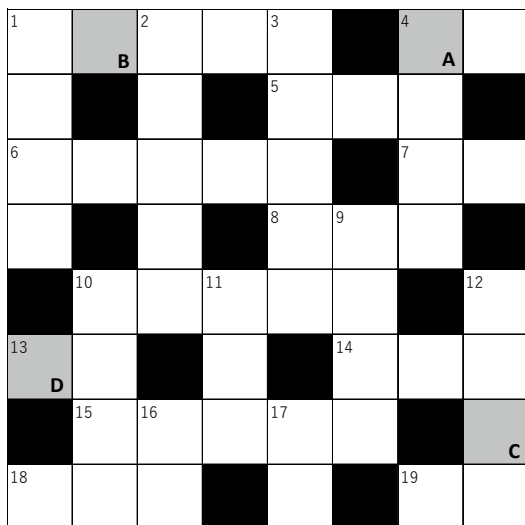
計画対比 + 92,774kWh

前年対比 △ 8,540kWh

前年対比 + 8,928kWh

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

7月号の正解は

「タナバタ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 佐藤 愛子 様
深川市 川端佐代子 様
深川市 宮田 美加 様

【タテのカギ】

- 自分の会社をへりくだって
いう言葉
- 一つのことを2人以上の人
が共同で持つこと。「情報
○○○○○」
- 研磨剤・洗剤などを混ぜて
作った磨き粉
- 隠さないで全てをさらけ
出す事。むき出し「敵意○
○○○」
- 車などが後ろからぶつか
ること
- 危険を伴う動作を身軽に
演じてみせる芸。曲芸。○
「○○○○師」
- 頭にかぶるもの
- ある地方で使われている、
標準語でない言葉
- 手で持てるくらいの岩の
小さい物。
- 光が無くて真っ暗な状態

【ヨコのカギ】

- 借りていた物、預かっていた
物などを所有者に返す事
- 音楽に合わせて体や手足を動
かし、様々な姿を見せること
- 鉄道の線路。カーテンを走ら
せるための溝のついた鋼材
- 賞として与える金銭。くじな
どに当たった人に与える金銭
- かつおぶしやこんぶなどを煮
て出した、いい味のしる
- 定期的に発刊される本。「漫画
○○○」「ファッション○○○」
- アメリカ南部で牧場にやとわれ
牛などの家畜の世話をする男
- 吉祥と長寿の象徴である鳥。
「○○の一声」
- 船や航空機で海外へ行くこと
- 背広の下などに着る、えりの
ついた長袖のシャツ
- 日の光。「○○○を浴びる」「○
○○が強い」
- 金より少し軽く、白色の美し
いつやを持った金属

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フ
ォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だ
よりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切9月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和4年11月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

八月俳句

●土筆俳句会

疵在らぬ苦屋なれども月まどふ
白玉を届けてくれし若き友
宿題を終えて晴れ晴れ白木槿
極楽を見たよな気分揚げ花火
湯杓置く竹の響きや涼に添う
夏暁やひかり一筋二十階
夏空は青のキャンバスチムドンドン
服薬を照らす枕灯虫の声
早暁の草取り忙し日曜日

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

●「道」俳句会 北電支部

開拓の百三十や稲の花
通い田の案山子吹く笛澄み切って
満天の星の目盗み夜盗虫
敗戦日昭和一桁みな無口
贈り物メロンと決めて五十年
八月の月を友とし酒を飲む
陽に風に礼するごとし稲穂かな
夏座敷枕の匂い祖父の顔

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

●雨電俳句会

風鈴を下げては風の径さがす
自転車の媼の背中西日追う
夏の旅飛行機嬉し三姉妹
甘藍の採ればぱっくり笑いけり
風を待ち風鈴静かに昼下がり

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

第8回理事会 〈令和4年8月1日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産の取得・修繕について
6. のりり監査法人期中監査Ⅰ経過概要報告について
7. 令和3年度農協経営分析について
8. 令和3年度 連合会・関係団体の概況について
9. 職員の人事及び業務事故について
10. 令和4年度 空知管内JA役員研修会の開催について
11. 貸出金の貸付報告について
12. 令和4年度 長期共済一斉推進実績について
13. 米・水田農業をめぐる情勢と今後の対応について
14. 5年間での水張りを困難とする課題報告について
15. 肥料価格高騰対策（案）について
16. 令和4年度 主要農作物の生育概況について
17. うるち米を巡る情勢について
18. 令和4年産 うるち米早期契約締結内容について
19. もち米を巡る情勢について
20. 米在庫状況について
21. 販売未収金について
22. 令和3年産 てん菜最終精算について
23. 令和3年産 種子馬鈴薯最終精算について
24. 畜産物の販売実績について
25. 青果・花き集荷販売実績について
26. 経済部事業実績について

議案第1号 就業規則の一部改正について
議案第2号 給与規程の一部改正について

議案第3号 貸出金の貸付決定について
議案第4号 クミカン貸越極度額の変更について

音江保育園 バケツ稲レポート



8がつ 3にち 水ようび

稲が倒れてしまわないように職員が支柱を立ててきました♪
収穫が少しずつ近づいています！美味しいごはんになるといいですね！

組合員の動き

(令和4年7月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,293	8	29	1,272
	団体	95	3	0	98
准組合員	個人	5,593	35	33	5,595
	団体	274	0	0	274
正組合員戸数		921	4	13	912



金融共済部からのお知らせ

満期金や一時資金を活用して
火災等・自然災害にそなえる

建物更生共済

My家財

建更全期前納プラン(1型)

【ご契約例】

共済の対象：家財家具、掛金種別：住宅物件、共済価額：1,000万円、火災共済金額：1,000万円
満期共済金額：1,000万円、払込方法：年払（全期前納）、臨時費用共済金の支払割合 10%

全期前納共済掛金

9,976,109 円

10年後

満期共済金

10,000,000 円

(受取差額 + 23,891 円)

※上記ご契約例で、共済期間 10 年
鉄筋コンクリート造建物（耐火造 A）の場合

しかも！

満期共済金に加え、最大 1,000 万円まで、
火災等や自然災害にそなえることができます！

※共済金のお支払いには所定の条件があります。



●上記ご契約例の場合の共済掛金（構造区分、共済期間別）

(2022 年 4 月現在)

構造区分	満期共済 金額 万円	共済期間 5 年プラン			共済期間 10 年プラン		
		全期前納 共済掛金 円	受取差額 円	給付率 %	全期前納 共済掛金 円	受取差額 円	給付率 %
耐火造 A (鉄筋コンクリート造建物など)	1,000	10,038,091	▲38,091	99.6	9,976,109	23,891	100.2
耐火造 B・C (省令準耐火建物など)	1,000	10,054,488	▲54,488	99.4	10,005,596	▲5,596	99.9
木・防火造 (木造建物など)	1,000	10,117,776	▲117,776	98.8	10,122,943	▲122,943	98.7

※表記は一例であり、給付率はご加入いただく共済期間、共済金額等によって異なります。

※給付率は満期共済金額÷全期前納共済掛金にて算出（小数点第 2 位以下切り捨て）

※ご契約から 5 年以内に満期共済金（解約返れい金）を受け取る場合には、満期共済金（解約返れい金）に割りもどし金を加えたものから累計払込共済掛金を控除した額の 20.315%（所得税 15.315%、住民税 5%）が源泉分離課税の対象となります。6 年目以降に満期共済金（解約返れい金）を受け取る場合は、一時所得となり、50 万円限度の特別控除があります。（2022 年 1 月末現在の法令等および国税当局への照会結果にもとづくものであり、将来の取扱いを保証するものではありません。個別の取扱いについては所轄の税務署にご確認ください。）

※お引受けには所定の条件があります。

お問い合わせ先

本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

JAきたそらち

JA共済

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22019990060】